

講師：吉田いくよ 氏

「あなたも・・・会話、しぐさ美人（美男）になりませんか？」

今社会では、人間性豊かで優れた人材育成が、医師・歯科医師養成においても必要とされている時代にきている。

日本人にとってとりわけ仕草、会話が大事に扱われてきた。であるにも拘わらず、今忘れ去られているのではないか。だからこそ、人間関係を豊かにし、融和するためには、相手にとって好ましい言葉、相手にとってやさしい態度を、常に有意識でのぞみ、それを継続するために負担でない程度に訓練することが肝心。

常に意識することは、周辺言語「声」、表情「笑顔」身体表現、「態度」。

「声」については高低、大小、強弱、緩急、明暗、間、滑舌、息継ぎを長く、などの違いを理解し、相手にどういう印象を与えるか意識することが大切。

「表情」については、自分自身を客観視して、五分咲きの笑顔とアイコンタクトが伝える深い意味を意識。

「態度」については、肩の力を抜いてピンと背筋を伸ばし、下を向かず、あごを床と平行に保つように心がけ、首と背骨と腰と足に意識を向け「心」を込め、腰を45度に折ってお辞儀をするなど、思いを形に表すことが重要。